

お 知 ら せ

参加者募集「イタセンパラの勉強会」

1. 概 要

生物の保全に関心のある方を対象に「イタセンパラの勉強会」を開催します。

絶滅危惧種で国の天然記念物であるタナゴの仲間の淡水魚「イタセンパラ」について、木曽川でのイタセンパラの保護活動、保護増殖事業、希少生物の再導入等について学び、イタセンパラの保全と私たちの生活との関わりについて考えたいと思います。

現在、参加者を募集しておりますのでお知らせします。 <参加費無料>

2. 開催日時・場所・内容等

令和 8 年 1 1 月 3 日（火・祝） 13:00～15:30（開場 12:30）

名古屋第 4 地方合同庁舎第 1 会議室

イタセンパラの保全と地域の取り組みの実態を知ろうミニシンポジウム

内容、参加申込方法の詳細は、別紙概要書及び添付の参加者募集チラシを御参照ください。

3. 添付資料

- ・概要書：「イタセンパラの勉強会」について
- ・「第 17 回 イタセンパラの勉強会」参加者募集チラシ、申込書

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮日刊記者会、羽島記者クラブ

5. その他

- ・希少種の詳細な生息地域等の情報、個人情報保護法に抵触するもの等については、非公開とさせていただきます。
- ・発表内容について、映像の保存や音声の録音といった行為は禁止とさせていただきます。

6. 問合せ先

（イタセンパラの勉強会、域外保全の取り組みに関すること）

環境省 中部環境局 野生生物課

課長

根上 泰子

外来生物
企画官

堀部 翔 tel:052-955-2139

（域内保全の取り組みに関すること）

国土交通省 中部地方整備局 河川環境課

課長

栗山 康弘

課長補佐

隅田 知孝 tel:052-953-8151

概要書 「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は、日本固有のコイ科の淡水魚で、二枚貝に卵を産むタナゴの仲間です。本種は国の天然記念物、また国内希少野生動植物種に指定されている希少種です。

イタセンパラは現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域のごく限られた場所にしか生息しておらず、生息環境の変化や、密漁などの人為的な影響もあって個体数が減少傾向にあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などに御理解いただき、連携した取組を進めていくことを目的として、毎年「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第17回となる今年の勉強会では、イタセンパラの保全や地域の取り組みに関するミニシンポジウムを開催します。

勉強会では、日本の3つの生息地における保全の取り組みについて、各地域で主体となって活動されている方々から紹介いただきます。木曽川での取り組みについては、環境省、国土交通省、世界淡水魚園水族館の池谷館長から、それぞれの取り組みを紹介いただきます。淀川での取り組みについては、淀川水系イタセンパラ研究会の河合典彦氏から、氷見での取り組みについては、氷見市教育委員会文化振興課の西尾正輝氏から紹介いただきます。最後に、講師の皆様と岐阜協立大学の森誠一特任教授にご登壇いただき、「地域と連携したイタセンパラ保全の取り組み」をテーマ、会場の皆様からのご意見を交えながら、パネルディスカッションを行います。

イタセンパラの各生息地における保全の取り組みについて知り、専門家との意見交換しながら、今後の保全活動との関わり方について考えることができる貴重な機会です。ぜひ御参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書（本資料の最終ページ掲載）により、お申込みください。

< 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、R8.3.5 改正）の概要 >

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者、関係機関及び地域住民が協働して、下記の活動を行っております。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

学識経験者：池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、北村 淳一（三重県総合博物館）、久保 禎子（一宮市 教育委員会教育部生涯学習課）、永山 滋也（長野大学 共創情報科学部）、森 誠一（岐阜協立大学 地域創生研究所）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）、伊藤 健吾（岐阜大学）

関係機関：文化庁文化資源政策・記念物課、愛知県（自然環境課、文化芸術課 文化財室）、愛知県警察本部生活経済課、岐阜県（自然環境課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動植物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部環境局野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所

第17回イタセンパラの勉強会

イタセンパラの保全と

地域の取り組みの実態を知ろう
ミニシンポジウム

高校生
大歓迎！

2026

11.3

火・祝

13:00～15:30(開場12:30)

会 場

名古屋第4地方合同庁舎1階第1会議室
(WEB会場 (Zoom会議室) 併用)

主 催

木曽川水系イタセンパラ保護協議会

内 容



● 講演①「木曽川水系でのイタセンパラ保全の取り組み」

講師：環境省中部環境局 堀部翔外来生物企画官、国土交通省中部地方整備局、
世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ 池谷幸樹館長

● 講演②「淀川でのイタセンパラ保全の取り組み」

講師：淀川水系イタセンパラ研究会 河合典彦氏

● 講演③「氷見でのイタセンパラ保全の取り組み」

講師：氷見市教育委員会文化振興課主査 西尾正輝氏

● パネルディスカッション「地域と連携したイタセンパラ保全の取り組み」

コーディネーター：岐阜協立大学 森誠一特任教授

パネラー：環境省中部環境局 堀部外来生物企画官、国土交通省中部地方整備局、
世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ 池谷館長、淀川水系イタセンパラ研究会 河合氏、
氷見市教育委員会文化振興課 西尾氏

参加無料
事前申込制
定員80名

こんな人におすすめ！

- ✓ 生きものや環境問題に興味がある！
- ✓ 地域の取り組みを知りたい！
- ✓ 自分の考えを誰かと語りたい



専門家と一緒に意見交換しませんか？
あなたの意見が未来の保全につながつかも！
会場からの質問也大歓迎です！

参加申込は
こちらから

申込方法

WEB、メールまたはFAXでお申し込みください。
詳細は裏面をご確認ください。

申込締切

2026年10月27日(火) 17:00まで

WEB申込は
こちら！



【お問い合わせ先】

環境省 中部環境局 野生生物課 (TEL: 052-955-2139)

お申込方法

WEB、メールまたはFAXでお申し込みください。



✉ : itasenpara@kensetsukankyo.co.jp

FAX : 052-218-0667

申込締切

2026年10月27日(火)
17:00

WEB申込は
こちら！



定員

80名(先着順)
※定員になり次第終了

参加費

無料

メールの場合

申込内容を記載し件名を
「イタセンパラの勉強会参加申込」としてメールにてお送りください。

FAXの場合

こちらの申込書に記入しFAXにてお送りください。

会場アクセス

名古屋第4地方合同庁舎1階第1会議室

(愛知県名古屋市中区三の丸2-6-2)

Googleマップからも
確認できます！



名古屋市営地下鉄でお越しの場合

- ・名城線「名古屋城」駅
4番・5番出口より徒歩約8分
- ・桜通線・鶴舞線「丸の内」駅
1番出口より徒歩約13分

お車で越しの場合

注意：名古屋第4地方合同庁舎の
駐車場は使えません。

会場近くのコインパーキングに
駐車いただき、お越しください。

(中区丸の内に複数のコイン
パーキングがあります。)



① 代表者氏名

② 住所(市町村まで記入)

(都道
府県)

(市町
村)

③ 電話番号

④ FAX番号

⑤ Emailアドレス※

⑥ 参加者名(参加いただく方全員の氏名を記入してください。)

<会場(名古屋第4地方合同庁舎)>

<WEB(Zoom会議室)>

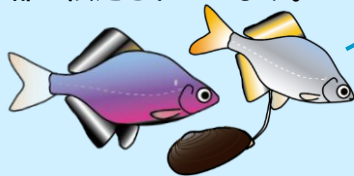
⑦ イタセンパラ保護に関する取組へのご意見

※WEB聴講をご希望の方は、WEB会議室URL(Zoom)をお送りしますので、必ずEmailアドレスをご記入ください。
なお、WEB会議室URLについては、**11/2(月)**にお送りいたします。

※参加申込に関わる個人情報、勉強会以外には使用いたしません。

木曽川にすむ希少魚「イタセンパラ」ってどんな魚？

イタセンパラ(コイ科タナゴ亜科)は、生きた二枚貝類のえらの内に産卵する日本固有のタナゴ類の1種です。分布は濃尾平野を含む国内3地域に限られ、いずれの地域においても絶滅が危惧されており、国の天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。かつては広く生息していたと考えられる濃尾平野の中でも、現在の確認箇所は、木曽川中流部のごく一部に限定されています。



生きた二枚貝類の
えらの内に卵を産みます



生息地は
世界で
3か所だけ



イタセンパラの稚魚

こんなことが学べます！



イタセンパラを
取り巻く現状

生態や生息環境、直面する課題について学べます。



各地域の
保全活動事例

木曽川・淀川・氷見の
取り組みを紹介します。



地域と学校が
連携する環境保全

未来につながる協働のヒ
ントが見つかります。



若い世代が参加できる
活動のヒント

自分にできる一歩を
考えるきっかけに。



パネルディスカッションでの
意見交換

自分にできる一歩を
考えるきっかけに。

注意事項

- 会場内での写真・動画撮影・録音は主催者の記録用を除きご遠慮ください。
- 事前申込制となりますので、当日参加はできません。

